

239その他の乗物を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2017	12	12~13	空港内の当社格納庫入口付近において、航空機の整備のため、機体を牽引車両で格納庫に入れようと牽引車両を動かした際、何らかの原因で航空機の左主脚が折りたたまれたことで、機体が左に傾き、当該者が左翼と地面との間に挟まれた。救出後、搬送先の病院で死亡した。	31	6	40103	300~499
2	2017	12	4~5	海苔枠に入った船を救助するため、漁場に向かい作業を行っていたところ、船の上から船底を見るために開閉出来るボックスが破損していたのに気がつかず、落下した。	55	1	10109	1~9
3	2017	12	14~15	プレーを終えて帰って来たカートの後方で、クラブ確認作業を行っていたところ、後続のプレーヤーのカートが戻って来た際、追突防止センサーが働かずに追突したため、肩を挟まれた。通常、カートの電源を入れておくことで追突防止センサーを作動させているが、今回は電源を切っていたため、センサーが働かなかった。	66	6	140301	30~49
4	2017	12	8~9	新しい職場なので、舟の砂利採取の様子を見せるために小舟に乗ったところ、躓いたのかバランスを崩して転び、頭と腰をぶつけて転んだ。	48	2	40309	10~29
5	2017	12	19~20	デリバリーを終え、店に戻る時、一旦停止のない交差点に入ったところ、出合いがしらの左側からの車に衝突し、転倒して負傷した。	17	17	80209	10~29
				当社社員が配達を終え、駐車していた車へ戻る際に後方から				500~

6	2017	12	17~18	接近してきた自転車に追突され転倒し負傷した。相手自転車は逃走し、警察署へ傷害事件として被害届を提出した。	26	3	110101	999
7	2017	12	14~15	漁船で操業中、中甲板（作業場）で漁獲物の選別作業中に魚箱を取ろうと腕を伸ばしたところ体勢を崩し、誤って魚艙に転落し、肩を中段板に激突させ負傷した（中甲板から1.5m下に転落）。	36	1	70201	10~ 29
8	2017	11	11~ 12	運行中、バス停において、車椅子をご利用のお客様がスロープを上られる際に、前進スイッチを入れていただくようにお声掛けし、車椅子を後ろから介助したものの、お客様のスイッチ操作がおぼつかなかったのか前進スイッチが突然切れてしまい、予想以上の重みがかかり、右肘に痛みを感じた。	56	19	40202	100~ 299
9	2017	11	17~ 18	食器洗浄係の被災者は夕方に仕事を終え自転車で帰る途中、場内道路の下り坂でスピードを出して走行していたためバランスを崩して転倒し、道路左側溝に落ちてしまった。右顔面と右腕に擦過傷を認め救急車を手配し、病院で治療を受けて、一泊して次の日に帰宅した。	70	2	140301	100~ 299
10	2017	11	8~9	シラス漁の為出港した。網を投入前に海に転落した。ロープの浮けに?まっていたが、ロープが急に締まり指を欠損した。	61	1	70201	1~9
11	2017	11	14~ 15	当社作業場内において、納品を終えた商品（ビール粕飼料）運搬用トラック（10t車）を所定位置に駐車後、運転席から降りようとした際、バランスを崩し転倒した。その際、地面に右肩を強打し、負傷したものである。	62	2	140301	50~ 99
12	2017	11	11~ 12	カット・洗浄済みの野菜とその下に敷く鉄板を台車に乗せ、冷蔵室前に移動した。先に鉄板を冷蔵室に運び入れる時、効率よく作業しようとして鉄板を3枚持ち上げた時、手が滑り右足親指辺りに落下した。	63	2	80205	30~ 49
				台車を引っ張り出す際に延長レールを引くのを忘れ台車を				

13	2017	11	7～8	引っ張り出した為、台車が傾き固定子が台車より滑り落ち、頭部・上半身に直撃し地面と挟まれた。	55	2	160101	30～ 49
14	2017	11	5～6	受傷者は刺網漁船の乗組員で、投網作業中に船が波を受け、大きく揺れた際に体勢を崩し転倒し頭部を強打し負傷した。意識が朦朧としていた事から、すぐに帰港を開始し、入港後すぐに救急車で病院へ搬送された。	58	2	70201	1～9
15	2017	10	7～8	作業場であるハウスまで向かう途中、道路の左側の用水路に落ちた。早出の理由は作業にまだ不慣れのため早めに出勤し準備をするため。	31	2	60101	1～9
16	2017	10	15～ 16	海苔養殖漁場へ行き箱船より船外機（エンジン）を親船で受け取る際波によりバランスを崩し生け簀にひっくり返り落ち、腰を強打し受傷したものの。	46	2	70209	1～9
17	2017	10	17～ 18	作業が終了し、自社船にて帰港した。岸壁に係留するため係留ロープを岸壁に取りに行き、戻った際に、船の縁に足をかけたところ、近くを運行していた定期船の波を受け自社船が大きく揺れた。体のバランスを崩し、岸壁の通路側に転倒し右手指を負傷した。	65	2	30111	10～ 29
18	2017	10	11～ 12	事務所で資材倉庫の片付作業（台風対策）が終了し、停泊している作業船（5t未満7.78m）に3人が乗り、港を出てすぐに、波が高くて船の先端が持ち上がり、船首附近に乗っていた被災者がバランスを崩し、デッキで臀部を強打し左大腿骨転子部を骨折したものの。	24	90	30199	10～ 29
19	2017	10	10～ 11	セメント積み込み栈橋でセメント製品を積み込みしている船舶に、協定業務のため乗船した。陸上設備上方に設置している確認用パトライトを視認した後、振り返り、本船事務室に向かおうと踏み出した際、デッキ上に設置している消防用水パイプに左足が引っかかり転倒し、左膝を強打した。	28	2	50202	10～ 29

28	2017	9	16～ 17	キャディ業務終了後に行っていた新人研修の帰り、乗用カートでクラブハウスに戻っているとき、カートの後部座席に座っていた、カートが練習グリーン横のカーブを曲がる際に、遠心力で自分の体を支えきれずカートから転落し、地面を数回転がったとき、右足親指を強打し骨折した。	26	1	140301	30～ 49
29	2017	9	1～2	離陸15分後、前方ギャレーにて機内サービスの準備を開始した際、床面に500円硬貨2個分程度の大きさの濡れがあり足を滑らせた。斜め外側方向に左膝を向けてしまい、無理な力がかかり足をひねり受傷。当該患部を瞬間冷却パックで冷却を実施し、帰国まで市販湿布薬および包帯にて冷却・固定をした。	32	19	40103	1000 ～ 9999
30	2017	9	14～ 15	講習会を開催時、共同開催者の事務所に所用があり、自転車を借用し移動後会場に戻る途中、路地道から歩道のある道路で左折しようとしたところ、歩道の低い段差で自転車の前輪が滑り転倒し負傷した。	66	17	170209	1～9
31	2017	9	8～9	教習場内給油所にて、給油中に送迎職員が送迎車を出庫させる際に、アクセル・ブレーキ操作を間違え、アクセルを踏み込み前方の車両及び職員に接触、負傷させた。	29	18	120101	50～ 99
32	2017	9	17～ 18	当社工場構内に於いて、修理整備のため上架したFRP船の船尾プロペラ付近でマスキング作業中、作業のため上がっていた架台上にてバランスを崩し、転落しそうになったため、とっさに左手で当該プロペラを握って掴まろうとした所、握った位置や角度が悪かったため左小指を切創負傷した。	44	19	11501	1～9
33	2017	8	13～ 14	台船の接岸時、係留ロープの受け渡し中に、船のタイヤと既設防舷材に左足を挟まれ、足の甲（前半分）を多発開放骨折した。	55	6	170209	100～ 299
34	2017	8	12～ 13	出勤時、社員駐輪場前で自転車から降りようとして、足が自転車に引っ掛かり、そのまま倒れ左膝を強打した。	61	2	80201	100～ 299

35	2017	8	14~ 15	屋外ヘリポートにて、機体の点検を実施しているとき、開いているレドームのパネルを固定している突出したピンが、自分の不注意により目に当たった。	22	3	40103	300~ 499
36	2017	8	12~ 13	会社に帰る途中、フットブレーキを踏み過ぎ、ブレーキが効かなくなり、動いている検診車から飛び降りた。降りたときに検診車と接触し、右足首・左脚・左腕を骨折した。	44	17	130109	100~ 299
37	2017	8	4~5	A船からB船に渡るときに、波が突然来て、B船がA船から離れ、飛び移るときに波の影響でバランスを崩し、海に落下した。その際に手を船に着き、肩を捻じらせた。	34	1	70201	1~9
38	2017	8	8~9	通勤のため小学校敷地に入り、駐輪場に向かって自転車で走行していたところ、スリップして転倒した。	66	2	120109	10~ 29
39	2017	8	11~ 12	施設の清掃作業中、作業用自転車を移動した際にくぼみがあったことに気づかず、足が引っ掛かり転倒し、右足首を捻り負傷した。	32	1	160101	10~ 29
40	2017	7	16~17	接岸中のフェリーの出港に向けて船首側において揚荷装置を使用し、コンテナを沿岸から吊り上げ、デッキに積み込んでいた。2段積みしたコンテナに作業員が乗り、コンテナの四方のフックを外し、振れている4本のワイヤーを両手で束ねて沿岸に返そうとした際、1本のワイヤーフックがシャツに引っ掛かり、宙吊りで2m程横へ振られた後、デッキ上に足から転落した。コンテナ上部に安全帯を固定する場所はなかった。	21	1	50202	30~ 49
41	2017	7	4~5	アスファルト舗装の公道にて新聞配達中に一段高い歩道との縁石に挟まれて転倒し、右足小指を骨折し、薬指に2cm程の切傷と出血があった。	59	2	80205	1~9
				当スタッフが2名乗りの電動カートで15番ホール売店清掃へ行く途中に16番ホール管理道（ゴルフ場スタッフが作業時に				

42	2017	7	16~17	使用する道路)の見通しの悪いカーブしている箇所で逆方面から来たカートに正面衝突しカートのハンドルで左脇腹付近を強打した。事故原因は見通しの悪い箇所だったがカートを減速せずに運転していたことが原因である。	66	3	140301	50~ 99
43	2017	7	11~12	「第三者行為災害」横断歩道上で歩行者及び自転車等の誘導中車道を渡って来た自転車に後方から激突され、そのまま転倒し頭から地面にたたき付けられ気絶してしまった。誘導場所、誘導位置には問題なかった。	65	6	170201	—
44	2017	7	11~12	訪問介護で一件目の訪問を終え次の利用者宅へ行く途中に発生。電動自転車で走行中雨天にて雨具装着にて視界が狭かった。車道に向かって脇道より出ようとする手前にて前方から走って来た、20代男性の乗るスポーツタイプ自転車と正面衝突した。右側に自転車と共に倒れ頭部打撲裂傷出血あり、右側腹部を強打した。激痛のため動けず管理者に連絡があった。検査、治療を受けた。	48	17	130109	30~ 49
45	2017	7	18~19	周辺の天候がやや不安定であった。着陸の際、窓から外を見て着陸するタイミングを把握し、脚を垂直におろして座席に深く腰掛けた状態で背中を背当てにつけ、手でCAシートを持つ姿勢で通常の着座姿勢を取っていたが、着陸時にやや強い衝撃を感じた。その際に、首から背中上部にかけて痛みを感じた。機内25ABC上の酸素マスクが落下、13ABC頭上物入れが開いた状況だった。勤務終了後、遅い時間であったため、そのまま帰宅した。	24	19	40103	1000 ~ 9999
46	2017	7	18~19	着陸時、窓の外を見てまもなく接着すると認識した上で、脚は垂直におろし、手でCAシートを持つ姿勢で通常の着座姿勢を取った。着陸と同時にガツンと体にくる強めの衝撃を感じ、鋭い腰の痛みを感じた。窓側の頭上物入れが開き、窓側の酸素マスクが落下した。肩・背中の痛みや違和感を	29	19	40103	1000 ~ 9999

55	2017	5	17~ 18	郵便物を出しに郵便局に自転車でいき、帰ってきてタイヤの空気が減っていたので、空気入れをしていたところ、自転車を止めるバーに足が引っ掛かって挫いた。	50	2	80209	1~9
56	2017	5	11~ 12	浄化センター構内に入った上り坂を、自転車を押して上り切った際に平坦な路面でバランスを崩し、自転車ごと転倒し、路面で右後頭部を打った。	57	2	10802	100~ 299
57	2017	5	5~6	航海中、濃霧のため視界が悪く、相手船（298t）と正面衝突した。その衝撃で転倒し、3ヶ所の骨折となった。	65	18	40102	1~9
58	2017	5	8~9	自宅からお客様宅へ自転車で移動中、交差点で左から来た自転車と衝突し転倒し、後頭部を打った。	63	17	130201	10~ 29
59	2017	5	12~ 13	店内出入口にて、置いてあったお客様の車椅子を移動しようとしたところ、慌てており車椅子が左足の上に乗上げて左足首と左足の指を挫傷した。	28	7	140201	30~ 49
60	2017	5	2~3	雨天時朝刊配達途中、お客様宅敷地内にて新聞投函後、次の配達先へ向かうため停めてあったバイクに乗ってUターンした際、バランスを崩し左側に転倒した。そのはずみで投げ出され、側にあったフェンス下方のブロックで左脇腹を強打し、左肋骨を骨折した。	53	17	80205	100~ 299
61	2017	5	7~8	港内に停泊中の船上において、漁場から船を移動させるために接岸用のロープを外そうと、船尾から船首に走って移動した時、滑って転倒した。その際、腹部横を船の仕切り材で強打した。	24	2	70101	30~ 49
62	2017	5	9~ 10	お客様の忘れ物の帽子を2番ホールまで届けようと、カートを運転し向かったところ、アウトコース管理道路入口付近のカーブを曲がりきれずに崖から2m程下に転落し、横転し、左腰部分を強打し負傷した。	18	1	140301	100~ 299
			17~	配水管整備工場の現場で、作業終了時、自転車で工事看板撤				50~

63	2017	5	18	去・回収をしていた時にバランスを崩し、左に倒れ左足首を捻った。	48	17	170201	99
64	2017	5	5~6	網起こし作業中に足を滑らせ転倒し、ドラムに左肋骨を打ちつけ、さらに左手首と左膝を床に打ちつけて打撲し、作業困難となった。	26	2	70201	10~ 29
65	2017	4	7~8	一旦会社に備品を取りに行き、仕事先へバイクで移動中、信号が赤で止まろうとしたところ、ブレーキだけでは止まりきれず足をついて止まろうとしたとき、左足を負傷した。	43	2	11501	1~9
66	2017	4	15~ 16	南コース3番ホールベントグリーン左バンカーレーキングが終了し、4番ホールへ行く為、バンカーからカート道へ出る時にハンドル操作を誤り、カート道左下へバンカーライダーに乗った状態で落下し、バンカーライダーから放り出されて左頭と肘を打った。	62	1	140301	10~ 29
67	2017	4	16~ 17	沖で網揚げをするため、ロープ2本を船首にある左右のローラーで引き揚げた時、ロープがねじれて揚がってきた。当事者が左右ローラーの真中に立って、それぞれ引き揚げるようにロープのねじれを確認しながら片方ずつ巻き取れるよう合図していた。その際に左側の木製やり出しについているローラーの軸の辺りから先の内側が折れ、そのままやり出しの部分が当事者の左足を直撃した。ただちに網揚げを中止してロープに浮を付け放し、そのまま帰港した。	46	6	70201	1~9
68	2017	4	5~6	当社配達員が自転車で新聞配達中に、自らバランスを崩して側溝へ転落し、左足を負傷した。	59	17	80205	10~ 29
69	2017	4	9~ 10	客室後方乗務員席（R2）で、着陸に備え着陸姿勢をとっていたとき、機体が接地する際に通常より強い衝撃で接地し、着陸後に右肋骨背中に強い痛みを発症した。	24	12	40103	1000 ~ 9999
				団地にて自転車で配達訓練を行っていた。自転車には後カゴが付いており、中に配達物を積んでいた。自転車に乗				

70	2017	4	12~ 13	車中、車止めと鉄柱の間を通り抜けようとしたところバランスを崩し、後カゴが車止めに接触した。その際に転倒し、尻もちをついたところ、自力で立ち上がることができなかった。	56	17	110101	300~ 499
71	2017	4	10~ 11	マーシャル業務で、15番ホールティーグラウンドより14番ホールグリーン方向へカートで逆走中、前方14番ホール定点に停車していたセルフプレーのお客様のカートが、無人の状態で発進し衝突しそうになった為、咄嗟に右足で前方のバンパーを蹴り停車させようとしたが、カート間に右足下腿が挟まり負傷した。	58	7	140301	30~ 49
72	2017	4	15~ 16	係船作業中、左足が滑ったので右足で踏ん張り転倒を回避した際、右足首に激痛がはしった。	55	19	40102	30~ 49
73	2017	4	15~ 16	ハッチカバー上にてシリンダーの材料の配材作業に従事していた際、ハッチカバー上の作業が終了しハッチカバー上から段差をつたって甲板に降りようとしたが、雨天の為に滑ってしまいハッチカバー上から転落し、左足を強打し受傷した(高さ2m10cm)。	59	1	11501	10~ 29
74	2017	4	11~ 12	甲板員である本人は、ホタテ稚貝放流後の帰港接岸中に、カゴを船から降ろそうとしたとき、誤ってカゴを持ったまま岸壁と船体の間にカゴが挟まり、左手薬指を損傷した。	32	7	70201	100~ 299
75	2017	3	8~9	船上にて錨ロープ引き上げ作業中に、踏ん張っていた右足が滑り、右足首をひねった状態で倒れた為、右足首を2カ所骨折した。	59	2	30199	50~ 99
76	2017	3	9~10	船上で出航準備中、足を滑らせ高さ約1mの水槽内に転落し、左足親指を骨折した。	32	1	70209	1~9
77	2017	3	17~18	船上で大敷網の網揚げ作業をしている時に、ロープを船首のビットに引っ掛けての作業中、大きく船が揺れてビットに	56	7	70201	10~

				引っ掛けているロープが外れ、そのロープと船体の縁に足を挟まれ、海へ転落した。				29
78	2017	3	15~16	配達のため社用バイクを止めようとサイドスタンドを立てたところ、不十分であったためバランスを崩し、右側に転倒し、右足を挟み、右足中足を骨折した。	43	2	110101	50~ 99
79	2017	3	20~21	当該埠頭に停泊していたコンテナ船のタラップにおいて、コンテナ積み降ろし作業に関する書類を本船チーフに届け、同時に署名をもらいに行こうと当該船のタラップを昇っていた。雨でステップが濡れて滑りやすい状況であり、バランスを崩して右足を踏み外し、右膝をステップに打ちつけ負傷した。	33	2	170209	100~ 299
80	2017	3	14~15	交通量が多い県道を自転車で走行中、道幅が狭かったが、自動車の往来が激しかったのもう少しはじに寄ろうとしたところ、小雨が降っていて路面が滑りやすくなっている状況に加え段差があり、滑って左側に転倒した。	56	17	130201	50~ 99
81	2017	3	17~18	駐輪場の路上にて自転車を1台回収作業しようとした際、靴の裏に油が付着しており、足を滑らせて転倒した。そのときに近くにあった自転車のハンドルに右側胸部を打ちつけた。	32	3	150103	50~ 99
82	2017	3	22~23	廃棄予定のトバーレスタグ（ジャンボジェットを運搬する車輛）の解体（ガス切り）時に、左足に解体物を当てて骨折した。	59	4	30209	1~9
83	2017	2	3~4	配達途中、坂道で自転車のペダルが空回りして転倒した為。	68	17	80205	10~ 29
84	2017	2	17~18	雨が上がった後の少し湿っている程度の、学童体育第2グラウンド（高齢者コミュニティセンター）で、児童と左手をつないで、一輪車に乗っていた時、児童が転びそうになり、一緒に体勢を崩して、右手をついて、後へ転倒し、骨折した。	25	1	130201	1~9

85	2017	2	15~16	故障した船を当社の沖まで曳航し、着岸前に船同士を固定する作業の際、高波に乗ってバランスを崩し、船体と船体の間に右足くるぶしを挟まれ負傷した。	27	7	80409	10~ 29
86	2017	2	9~10	交差点で右折の矢印が出たので少し前に出た時右側より救急車が来たので止まった時、後ろから強い衝撃があり追突された。ガクンと体が前のめりになり、しばらく動けなかった。車の移動時ガタガタと騒音と振動があり、後頭部に違和感を感じた。警察には連絡したが、救急車は呼ばなかった。	74	2	70201	1~9
87	2017	2	7~8	刺網漁業に漁夫として従事している。その日は漁港内にて、甲板を洗い流す作業中、足元が滑り転倒した際に、船のへりに顔面を強打し鼻を負傷した。	30	2	70201	1~9
88	2017	1	8~9	バージ塗装のためのサビ打ち作業をするため、単独で現場に向かうとき、バージに船を係留しようとし、誤って海に転落したと思われる。事故発生時は北西の風が強く吹いていた。船の出発時、定アンカーを設置していたが、プロペラにそれを巻いており、ロープを巻いたままバージに向かっている。	47	10	10901	10~ 29
89	2017	1	10~ 11	岩ガキの飼育場所を変更するために運搬し、帰り際に橋下において漁船の航行波を受け、乗員4名中1名が船首付近から甲板に叩きつけられ負傷した。	56	18	70209	1~9
90	2017	1	5~6	自転車で幹線道路で新聞配達中、80cmくらいの高さの田へバランスを崩して転倒し、救急搬送された（意識はあったが動けなかった）。	77	17	80205	30~ 49
91	2017	1	8~9	リフト降り場上部板台において雪降ろし作業をしている時、リフト稼動中に、右雪を蹴って落とそうとし、ロープとの間に右足を挟まれた。	61	7	40101	—

92	2017	1	13～ 14	カート道路にて、カートに当たってしまい転倒し、左足膝に痛みを感じた。	49	3	140301	50～ 99
93	2017	1	18～ 19	帰庫後、車庫から事務所へ向かう途中、車庫の出入口で右から走って来た自転車と接触した。	64	3	40201	50～ 99
94	2017	1	10～ 11	定置網切揚げ作業中、前ドラムをゆっくり巻いていたが、ロープを張りすぎて、ロープに跳ねられロープとロープの間に左手を挟まれて負傷した。	68	7	70201	—
95	2017	1	9～ 10	沖約3キロの海上で底置網漁中に、船から転落し、付近の海上でうつ伏せで浮かんでいるのを捜索中の漁船に発見された。	59	10	70201	1～9
96	2017	1	7～8	網取り作業中、船尾のロープを小型ボートで引っ張っている時に、外航船舶が急にプロペラを回した為、ロープがプロペラに絡まり、引っ張られて、そのとき一緒に小型ボートもプロペラ付近まで急速に引っ張られ、外航船舶の船尾に接触して一気に傾き転覆し、沈没した。	74	6	170209	30～ 49
97	2016	12	18～ 19	ドライバーが原付き自転車で配達を終え帰店していた際、時速約30kmで走行中、自車の前輪が釘を踏みパンクしてしまい、バランスを崩して転倒し受傷した。	22	2	80209	10～ 29
98	2016	12	4～5	まき網操業中、本船上での揚網中に、カンサシをピンで留めているのを外している時に、ピンとカンサシの間に右手を挟まれて怪我をした。	75	7	70201	10～ 29
99	2016	12	16～ 17	クラブハウスのスロープにて、電動カートを使用し、ゴミ捨て作業をしている際に、曲がり角にて右手をぶつけてしまい、右第5指を骨折した。	64	3	140301	100～ 299
100	2016	12	13～ 14	飛行機が一番後ろのジャンプシートに座っていた。離陸直前のハイスピードの時に突然、急ブレーキがかかり、飛行機が停止した。その時に首が前後に振れた為、首を痛めた。	51	19	40103	50～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。